

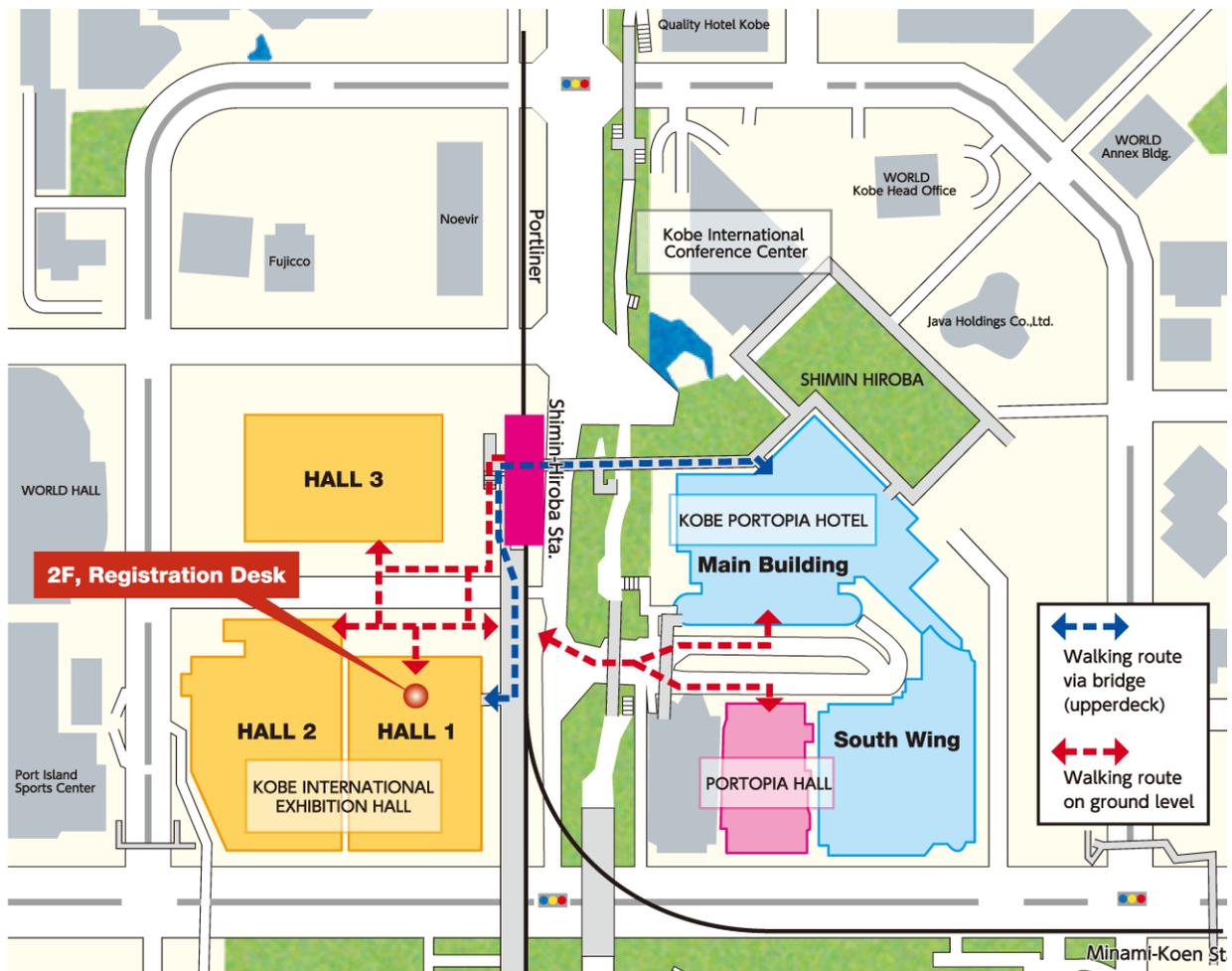
2010 年国際免疫学会議・組織委員会ニュース

第 17 号:平成 22 年 8 月 16 日 組織委員会・阪大事務局発行

さあ、あと一週間です！

神戸の空に免疫学の大輪の花火を打ち上げ、日本の免疫学者の情熱、熱意で空を焦がしましょう！

会議前登録者の数は 5,400 名を越えたことから、確実に 6,000 人以上の参加者が見込まれます。会場は、神戸のポートピアホテル、国際展示場が中心です。登録会場は国際展示場 1 号館となります（下の図の Hall 1）。三宮からポートライナーに乗り、市民広場駅で降りて、進行方向右側にあります。



✚ その後の新しい展開は次のようです。

1. 参加者には、当日、冊子体のプログラム集と抄録集が配布されます（抄録集の会議前の配布はありません）。抄録集は、登録参加者のみ、ネットからのダウンロードが可能になります。
2. 会議のウェブサイト（<http://www.ici2010.org/>）が大幅に更新されました。"Program Planner"という仕組みが入ったので、著者名、演題名、キーワード名などを入れることにより、特定の演題のサーチができます。勿論、ご自分やお友達の演題の日時を探すのにも使えます。さくさくと軽く動き、便利です。
3. 会期中は、広報委員を中心にマスコミ対応を行い、その日のトピックなどを記者の人たちにわかりやすく発表する「報道対応室」を設けます。報道価値のある発表やイベントがあった時には、是非、当日中に高浜広報委員長まで情報提供下さい。
連絡先は、takahama@genome.tokushima-u.ac.jp または 090-7781-5048 です。
4. リスクマネジメント委員会の斡旋で、海外からの急病者のための通訳サービスとして、医療通訳士協議会（JAMI）が協力してくれます。

サイエンス以外にも素晴らしいエンターテインメント・イベントがあります。前号でも説明しましたが、もう一度、ご覧下さい。

✚ 開会式（8月22日 17時～）

David Batimore 博士（1975年度ノーベル生理学医学賞受賞者）による基調講演の後、金聖響氏の指揮による大阪フィルハーモニー交響楽団のコンサートが行われます。

曲目は； グリンカ 歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

ドヴォルザーク 交響曲第9番ホ短調「新世界より」op. 95

です。アンコールもあるはずですが、ただし、ポートピアホールに 1,700 名、第二会場に 1,300 名の計 3,000 名しか入れません。入場は先着順となりますので、ご了承下さい。

✚ ウェルカムレセプション（8月22日 19時45分～）

神戸ポートピアホテル宴会場「大輪田」にて立食形式で行われます。倭太鼓「飛龍」による太鼓演奏があります。2007年の世界陸上大阪大会閉会式で演奏した気鋭のグループです。

✚ オフィシャルパーティー（8月26日 20時～）（予約者のみ）

観光船「ルミナス」に乗り、神戸湾クルーズを楽しみながら、食事をして、ジャズバンドの演奏を楽しみます。演奏は、次の3人の免疫学者です。

Willem van Ewijk（理研 RCAI のユニットリーダー：トロンボーン）

Rolland Scollay（かつて T 細胞分化の研究者、現在 CSL：アコースティックギター）

山村 隆（国立精神神経センター：ピアノ）

ただし、このクルーズは既に予約が一杯です。パーティーに参加ご希望の方は、同時間に行われる下記のメリケンパークパーティーにどうぞ。

✚ メリケンパークパーティー（8月26日 20時～）（自由参加）

クルーズが発着するメリケンパークで、自由参加のパーティーが行われます。種々の屋台が出て、DJ によるディスコ、徳島から参加の「菊水連」による阿波踊り、さらには、免疫バンド「Negative Selection」によるロックコンサートなどがあります。出演者は次の方々です。

大野博司 (RCAI) : Vocal
河本 宏 (RCAI) : Guitar 1
石戸 聡 (RCAI) : Guitar 2
大久保博志 (ロックカク) : Keyboard
高浜洋介 (徳島大) : Bass
北村俊雄 (東大) : Drums

✚ 会議を飾る光のショー (8月26日21時45分頃) (自由参加)

上記のクルーズが埠頭に戻ってくるタイミングに合わせて、目くるめくような光のショーがメリケンパークで行われます。オフィシャルパーティー参加者もメリケンパークパーティー参加者も同時に楽しむことができます。絶対に参加お勧めの素晴らしい光のショーです！

この他に、次のような情報があります。

- ✚ 神戸市から、三宮とポートアイランドをつなぐポートライナーの無料券が先着 6,000 名の登録参加者に提供されます。
- ✚ 会場にスターバックスのワゴン車が来ます。三宮からは、ポッカケうどん、肉まんなど、種々の屋台が出る予定です。
- ✚ 神戸の夜の街で美味しいものを安く食べることができる“A Taste of Kobe”の情報が、新たに会議ウェブサイトに掲載しました。
- ✚ 8月21日(土)には市民講座「人類とウイルスの闘い：医学の挑戦」が行われます。インフルエンザと口蹄疫について、中高生、一般を対象とした講演があります。是非、お知り合いの方に薦めて下さい。参加無料です。
- ✚ 8月25日(水)の国際シンポジウムにも口蹄疫の演題が入り、シンポジウムの名称は、“Virus Epidemic: Influenza and Foot-and-Mouth Disease” となりました。
- ✚ 臨床医向けの特別セミナーが 3 つあります。8月24日(火)に “Progress of cancer immunotherapy”、25日(水)に “Present state and future of biologics in autoimmune diseases I: Cytokines”、26日(木)に “Present state and future of biologics in autoimmune diseases II: Immune cells” が行われます。いずれも午後2時~4時半までです。癌免疫、自己免疫疾患の最前線が紹介されます。
- ✚ 世界中から多くのトラベルパーサリが若手研究者のために提供され、何と 600 人以上の若い人たちが公的な旅費援助を受けて ICI 2010 に出席します。
- ✚ 展示会場には、日本の免疫学の歴史、日本免疫学会の活動、1983年に京都で開催された第5

回国際免疫学会議などを紹介する全長約 15 メートルの「日本の免疫学」展示ブースが設営されます。

最後に、参加者の皆さんには下記のことにご注意下さい。

1. 登録料支払いは、会場でのみ可能です。一般の方は 45,000 円、学生は 15,000 円です。
2. 開会式はポートピアホール（1,700 名収容）が主会場で、ポートピアホテル地下の和楽+偕楽（1,300 名収容）が中継会場となります。すなわち、最大 3,000 名までの参加となりますので、ご注意下さい。招待客以外の方は先着順に入っていただき、両会場が一杯になったところで締切になりますので、ご了解下さるようお願いいたします。
3. ワークショップは月～金までの 5 日間ですが、ポスターは月～木の 4 日間です。従って、一部のポスターは所属ワークショップとは異なる日に掲示していただくことになります。上記ウェブサイトの Program Planner でご自分の発表日を確認して下さい。
4. 日本免疫学会員で、シンポ演者、座長、ワークショップ座長を担当される方々をお願いいたします。ICI 2010 は日本免疫学会主催の会ですので、くれぐれも登録料のお支払いをよろしくお願い致します。
5. 最後に、皆さんにお願いします。最終日の 8 月 27 日（金）に行われる閉会式は、会議の最後を締めくくる重要なセレモニーです。次回開催国のイタリア代表の Luciano Adorini 氏が ICI 2013 の紹介を行うとともに、岸本会長が閉会のご挨拶をされます。できるだけ多くの方々にご参加をお願いします。特に組織委員の方々は是非、ご出席下さい。

それでは、皆さん、出来るだけ多くの同僚、お友達を連れてきて下さい。これほど中身のつまった、しかもお楽しみが沢山ある会議は他にありませんよ。会場でお会いできるのを楽しみにしています！！



阪大 ICI 2010 事務局: 師井(もろい)悦子

tel. 06-6879-3971, fax. 06-6879-3979

e-mail: 2010ici@orgctl.med.osaka-u.ac.jp (I はエルです)

コングレ ICI 2010 事務局: 萩原政彦、豊田礼子

Tel. 03-5216-5551, fax. 03-5216-3115

e-mail: ici2010@congre.co.jp

(文責: 2010 ICI 組織委員会事務局長・宮坂昌之)